



財政健全化計画の進捗状況

※前ページ(ア. 歳入の確保②)の続き

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
奨学資金貸付金の滞納額の削減	未達成	1,510万円	2,330万円	820万円	未就職や家計急変、非正規雇用などの低所得者が増えたことなどから、目標額に比べ820万円削減が進みませんでした。奨学生の実情に合わせた返還計画の見直しなど滞納額の削減に努めます。
温泉使用料の滞納額の削減	未達成	880万円	1,030万円	150万円	厳しい経済状況により、新たな滞納世帯の発生に加え、大口利用者の徴収が滞ったことから、目標額に比べ150万円削減が進みませんでした。納付指導や給湯停止などにより滞納額の削減に努めます。
下水道使用料の滞納額の削減	未達成	3億 1,220万円	3億 6,750万円	5,530万円	厳しい経済状況により、大口利用者の分納誓約額の減額などから、目標額に比べ5,530万円削減が進みませんでした。警告書の発送や戸別訪問の強化などにより滞納額の削減に努めます。

③未利用財産の売却処分(増加指標：増額の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市有地の売却	達成	1億 5,200万円	1億 7,700万円	2,500万円	継続的に公売物件の売却などを行ったことにより、目標額を2,500万円上回りました。

④国民健康保険税の基盤強化(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険税収入の増収	未達成	37億 4,600万円	24億 9,700万円	△12億 4,900万円	医療制度改正により後期高齢者医療制度へ移行した75歳以上の被保険者分の減収や、景気低迷によるリストラなどによる収入減少、離職者への軽減措置導入による算定基礎所得の減などから、目標額に比べ12億4,900万円減収となりました。督促状や催告書の送付、納税指導などにより歳入のさらなる確保に努めます。

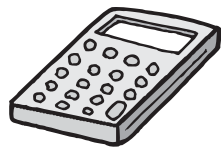
⑤下水道使用料の見直し(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
下水道使用料収入の増収	未達成	15億 2,400万円	12億 9,100万円	△2億 3,300万円	平成21年度使用料改定の上げ幅を計画策定時より緩和したことや、景気低迷による観光客数の減少、一般家庭の節水意識の向上による有収水量の減少などから、目標額に比べ2億3,300万円減収となりました。納付指導の強化や未接続世帯への接続あっせんなどで普及を促進し、使用料の増収を図ります。

イ. 歳出の抑制

①職員人件費の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
職員人件費の削減	達成	80億 4,500万円	77億 9,800万円	△2億 4,700万円	定員適正化計画に沿って順調に職員数削減が進んだことから、目標額に比べ2億4,700万円削減が進みました。



財政健全化計画の進捗状況

「財政健全化計画」は、市のまちづくりに対応できる財政体質を確立するため、「歳入の確保」および「歳出の抑制」について、目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

なお、計画期間は平成20年度から23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗^{しんちょく}を公表します。今回は、平成22年度の進捗状況をお知らせします。

主な会計の進捗状況

1. 一般会計

職員人件費や特別会計への繰出金については削減が進みましたが、市税収入は景気低迷により減収となり未達成、また使用料・手数料の滞納整理などについて未達成であったことから、今後、市税や使用料・手数料などの徴収率向上を図るとともに、経常経費の抑制に努め、健全化を推進します。

2. 国民健康保険事業特別会計

一般会計から財源補てんを受ける基準外繰出は、税率の見直しや医療制度改正の影響などから、目標以上に削減ができました。しかし、被保険者の所得減少による税収の落ち込みと、診療報酬の改正による医療費の増加により、いったん解消された基準外繰出を受けることになりました。安定的な運営を図るため、健診などの医療費削減事業や負担の適正化などに取り組み、財政の健全化を図ります。

3. 下水道事業特別会計

過去に借り入れた市債をより低利なものに借り換えたりことや、事業費の減額により一般会計からの基準外繰出の削減については、目標を達成することができました。しかし、下水道使用料の滞納額の削減については、東日本大震災の影響もあり未達成だったことから、納付指導の強化などにより財政健全化の推進に努めます。

《各課題の進捗状況》 ※実績額1,000万円以上のもの

ア. 歳入の確保

①税基盤の充実(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市税収入の増収	未達成	147億 6,400万円	138億 8,400万円	△8億 8,000万円	厳しい経済状況により市民税が落ち込んだことから、目標額に比べ8億8,000万円の減収となりました。督促状や催告書の送付、納税指導、滞納処分などを行い、歳入のさらなる確保に努めます。

②使用料・手数料などの滞納整理と徴収率向上(削減指標：減額(△)の場合は達成) ※目標額・実績額は滞納調定額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
保育費扶養者負担金の滞納額の削減	未達成	1,000万円	1,810万円	810万円	支払いの滞りや完納誓約どおりに支払われない例が多くあったことから、目標額に比べ810万円削減が進みませんでした。納付指導の強化などにより滞納額の削減に努めます。
市営住宅使用料の滞納額の削減	未達成	3,660万円	5,030万円	1,370万円	経済状況により、滞納分が分割支払いになったことなどから、目標額に比べ1,370万円削減が進みませんでした。督促状や催告書の送付、悪質な滞納者には、裁判所への支払督促申立や明け渡し請求などにより滞納額の削減に努めます。
住宅新築資金等貸付金の滞納額の削減	未達成	7,800万円	8,620万円	820万円	借受人の高齢化などにより徴収が滞ったことから、目標額に比べ820万円削減が進みませんでした。継続的な戸別訪問や分割納付の指導などにより滞納額の削減に努めます。



水道事業経営健全化計画の進捗状況

平成20年3月に策定した「水道事業経営健全化計画」は、水道事業の健全な経営を維持するためのものです。また、老朽化する施設や設備を更新し、将来にわたって安全安心な水を供給するための総合的な経営改善の指針とするものです。

計画期間は平成20年度から23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗を公表します。今回は、平成22年度の進捗状況(一部抜粋)をお知らせします。なお、すべての進捗状況については、市ホームページに掲載しています。

◆平成22年度の進捗状況について

おおむね計画に沿った健全な事業を実施することができました。主な課題の進捗状況については表のとおりです。

1. 健全で効率的な経営

①健全な経営基盤の確立

項 目	計画目標	平成22年度の進捗状況
財政計画の策定	総合計画に従い、水需要の実態に即して料金の適正化を図ることや、維持管理、建設改良事業についてより一層の抑制・削減を基本に、収支均衡の取れた健全な経営を目指した財政計画を策定します。	平成23年4月の料金統一に向けた財政計画の見直しを行いました。また、企業債残高縮減に向け、借入を抑えるため財源の取り崩しなどの検討を行い、建設改良積立金5億2,000万円のうち、平成23・24年度にそれぞれ1億円ずつ取り崩すことにしました。
適正な料金水準の確立(平成23年度の料金統一)	平成23年度の料金改定に当たり、新たな事業計画や財政計画に従い適正な料金水準を確立するとともに、利用者の負担を考慮して段階的な改定も検討します。	料金統一により、一般家庭では急激な負担にならないよう、大口径利用者のホテル・旅館などについても、最小限の負担にとどまるよう配慮しました。また、65歳以上の高齢者世帯を含む少使用量世帯の負担軽減を目的に、基本料金の水量を10㎡から5㎡に引き下げるなどの検討を行い、条例を改正しました。

2. 安全で良質な水の安定供給

①水質の安全性確保

項 目	計画目標	平成22年度の進捗状況
水質管理の強化	水道水源地域で、水質の悪化が懸念される状況になっていることから、河川など水源の水質検査を含めた水質検査計画を作成し、検査結果を公表します。	水質検査計画に基づく水質検査結果を、窓口閲覧だけでなく市ホームページでも公表しました。また、水道に接続することのできない場所における井戸、その他の飲料水の給水施設に対して、水質検査費用補助を実施しました。

②計画的な施設の整備・更新

項 目	計画目標	平成22年度の進捗状況
計画的な施設更新・改良	中長期的な施設整備計画に従って、事業年度ごとに浄水施設や配水施設の改良・更新および老朽管の更新を行います。また、計画に対する実施状況の把握や、需要実態に即した事業の見直しを行うなど、効率的な事業推進のための適切な進捗管理を行っています。	浄水施設や配水施設の改良・更新および老朽管の更新を行いました。また、経営健全化計画第1期計画の進捗状況の中で実施状況の把握や事業の見直しを行い、第2期計画に反映させることにしました。

水道事業経営健全化計画に関してくわしくは 水道課 水道総務係 ☎21-4532



財政健全化計画の進捗状況

②公債費負担の軽減(削減指標：減額(△)の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
普通会計の公債費の削減	達成	△5,600万円	△6,300万円	△700万円	過去に借り入れた高金利の市債を低金利な市債に借り換える際の金利が、当初見込みより低く抑えられたことから、目標額に比べ、普通会計においては700万円、下水道会計においては2,800万円削減が進みました。
下水道会計の公債費の削減	達成	△1億9,800万円	△2億2,600万円	△2,800万円	

③経常経費の総額抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
物件費の削減	未達成	45億6,700万円	57億6,800万円	12億100万円	経済対策として国庫補助を受けて実施した地デジ対応テレビ、消防用ホースなどの整備や、指定管理施設の増加、新クリーンセンター運営費の増加などから、目標額に比べ12億100万円削減が進みませんでした。経常的な経費について総額抑制を図っていきます。

④補助金の整理合理化(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
補助金の削減	未達成	8億600万円	9億円	9,400万円	自治公民館建設事業費補助金や分譲地公共施設整備事業補助金、在宅介護オアシス支援事業補助金などが増額となったことから、目標額に比べ9,400万円削減が進みませんでした。引き続き、補助金の整理合理化方針を堅持していきます。

⑤特別会計繰出金の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険事業の基準外繰出の削減	達成	4億3,900万円	2億2,600万円	△2億1,300万円	税率の見直しや医療制度改正による前期高齢者の医療費に係る交付金の増加などから、目標額に比べ2億1,300万円削減が進みました。
下水道事業の基準外繰出の削減	達成	1億3,600万円	7,900万円	△5,700万円	計画策定時見込みより基準外繰出の算定基礎となる建設改良費が減額となったことから、目標額に比べ5,700万円削減が進みました。
自家用有償バス事業の基準外繰出の削減	未達成	1,600万円	2,400万円	800万円	足尾JR日光駅線・唐風呂線の運行形態を見直した結果、バス利用者数と使用料がともに増加しましたが、基準外繰出の減額には至らなかったことから、目標額に比べ800万円削減が進みませんでした。今後も利用者の利便性の向上に努め、バス使用料の増収を図り、基準外繰出の削減に努めます。
公設地方卸売市場事業の基準外繰出の削減	達成	1,000万円	800万円	△200万円	市場事務を民間に委託したことにより事務費や人件費が削減できたことから、目標額に比べ200万円削減が進みました。
温泉事業の基準外繰出の削減	未達成	1,800万円	4,300万円	2,500万円	厳しい経済状況により、一般家庭および大口利用者の給湯停止があり、特別会計における温泉使用料収入が計画を下回ったことから、目標額に比べ2,500万円削減が進みませんでした。収入率の向上および滞納整理を行い、基準外繰出の削減に努めます。

財政健全化計画に関してくわしくは 財政課 財政係 ☎21-5162